

黄砂は中国のタクラマカン砂漠から偏西風に乗って日本海を渡り日本へ、そして太平洋をも越えていく。黄砂は私たちにいろんなことを教えてくれる。それは物質に限らず情報も運んで来るからだ。黄砂が広く世界で研究されたしたのはここ十年足らずのこと、今や欧米でも黄砂(KO-S-A)の単語でその存在が知られるようになつた。世界の環境問題とつながり、地球温暖化予測を正確に行うには必要な研究対象となつていて。黄砂に含まれる化学成分やその濃度、分布も大きな問題になつてくる。CO₂はすでに正体がかなり分かつてきただで規制時代に入っているが、黄砂はまだまだ研究が必要な段階にある。黄砂は国境を越えてやつてくるため、近年話が俄然面倒になつてきた。私どもは、いまその面倒な最中に身を置いている。

日本で話題になる赤潮現象は、陸地の近くで起きている。魚類の餌になるプランクトンが異常発生すると海が酸欠状態になるのだ。プランクトンは河川から流出する栄養分を

黄砂は中国のタ克拉マカン砂漠から偏西風に乗って日本海を渡り日本へ、そして太平洋をも越えていく。黄砂は私たちにいろんなことを教えてくれる。それは物質に限らず

黄砂は中国のタ克拉マカン砂漠から偏西風に乗って日本海を渡り日本へ、そして太平洋をも越えていく。黄砂は私たちにいろんなことを教えてくれる。それは物質に限らず

黄砂は情報も運んでくる

国境を越えるゆえの難しさ



世界連邦石川県連会長
題字は 杉山 栄太郎



黄砂が運ぶもの
金沢大学フロンティア
サイエンス機構特任教授
岩坂 泰信

砂の持ち出しは禁止であった。砂に微生物や有害物質が含まれているからと没収された。黄砂が国境を越えるときに生ずる諸問題を処理するために参加国の環境大臣会合が毎年開かれているが、難問続出である。公的な言葉は英語であ

り、韓国、ロシアの若者が参加して国際的なトレーニングの場となっている。金大が経営する能登スープアカデミー計画は、すべての研究者に開かれた国際的なものに

微生物を把握し、人間と微生物の共生、微生物世界の拡大、検疫制度、砂漠化現象の捉え直しなど様々な情報を共有し、お互いの悩みが分かるものにしていきたい。

環日本海域の国や地域は、大気の環境科学からみると、環境共同体ともいいうべき地域であり、環境協調を目指した努力が求められている。

研究者間では討論が可能でも、公的には議論できない不便さがある。

**寒中お見舞
申し上げます**

金沢都市開発株式会社
代表取締役
社長 杉山 栄太郎

〒920-0961
金沢市香林坊二丁目一
TEL ○七六二三〇一〇〇〇
FAX ○七六二三〇一五八二

**寒中お見舞
申し上げます**

石浦神社
宮司 長谷勝俊

〒920-0964
金沢市本多町三一三
TEL ○七六二三一八八一四
FAX ○七六二三一五五四

は参つてしまふ。プランクトンは酸素を吸収するため、水中の酸素濃度が低下し逆に魚類は食べて生き、元気になるため真ん中にも微生物がいるのか。また砂漠化現象という難問もある。中国の砂漠地帯に植林した林では、五十年前は森林の勢いが良かつたのに近年枯れはじめたといふケースもある。短期の資料だけで結論を出すべきでなく、何十年もの時間が必要である。

金沢大学は黄砂研究を始めた。能登半島の先端、珠洲市三崎町の旧小泊小学校舎を借りて五月(平成20年)に最初の気球を上げ空気を採取した。黄砂は大気汚染物質だけではなく、微生物も運んでいることが分かつてきた。中国の敦煌ではすでに観測作業がスタートしており、日本人はじめ中

は、この種の現象は英語でくくり切れないことが多い。各国の気象現象に関する基準値も異なる。日本だと「本日は黄砂が来てます」と発表されるだけだが、中国奥地では五段階があり五になると「すぐ」に建物の中に入りなさい。ドアを叩く人があつたら誰でも入れてあげなさい」となる。英語で示す単語には、そのような基準は全くない。黄砂の発生を押さえる方法について、

私はかつて南極観測隊に参加したとき、土産に南極の石と砂を持ち帰った。最近の知見では、黄砂を食べているらしい。水産業にも関係する問題である。私はかつて南極観測隊に参加したとき、土産に南極の石と砂を持ち帰った。最近の知見では、黄砂を食べ